

国際交流

International exchange

世界の文化に触れ、
感性を高めて、視野を広げる。

これからの伝統工芸には、世界規模で物事を捉える広い視野が必要です。

また世界の文化に触れることで、日本文化を再認識することができます。

TASKではより豊かな感性と国際感覚を育むことを目的に、フランスをはじめ、

各国の学校・団体との国際交流を積極的に推進しています。

【フランス】
France

エコール・カモンドと連携、
交換留学を実施。

フランスのプロダクト・インテリアデザインの学校「エコール・カモンド」。TASKを含む二本松学院は2019年に同校と連携協定を締結。文化交流を目的とした交換留学を実施しています。

PARIS to KYOTO

エコール・カモンドの学生がTASKに短期留学。茶道や伝統工芸を体験しました。竹工芸・金属工芸を体験した学生たちは、日本のものづくりに感心し、この体験を今後の勉強につなげたいと決意を新たにしていました。



最初に衝撃を受けたのは現地学生のアイデア。
留学で数々の刺激を受け、大きく成長できました。

2年次にエコール・カモンドへ短期留学した際、まず驚いたのが現地学生の優秀さです。文化的な背景や意味づけなど、自分とは異なる切り口からアイデアが生まれ、そのレベルにとっても刺激を受け、勉強になりました。今ではデザインの発想力や考え方も大きく変わり、海外からの目や使用者、周囲の人を考えながら制作できるようになるなど、留学体験で成長できたと実感しています。留学先では美術館やアトリエ、工房などを訪問し、直接目で見えて雰囲気を感じられたのも収穫でした。特に宝石・宝飾や、フランスの磁器であるセーヴル焼の工房では現場の職人の姿勢や息づかいを間近に感じ、陶芸家をめざす自分にとっても参考になりました。将来的には留学の経験を活かし、作陶した陶芸品を海外の展示会で出品することが目標です。自分の世界が海外にまで広がった、有意義な留学生生活を過ごすことができました。



陶芸専攻・工芸コース 3年生

新村 真規人

明治大学出身



フランスの工芸の工房も見学



地元の学生と工芸についてのディスカッション



日本の伝統工芸をとり入れた共同作品



カフェに行ったり、地元のお店に行ったりと海外生活を満喫

KYOTO to PARIS

TASKの学生がエコール・カモンドに短期留学。日仏の混在のチームを結成して、それぞれの学びを生かしたワークショップを実施。また工房や美術館見学などにも出かけ、楽しみながら刺激のある時間を過ごしました。



フランス

フランス最高峰の
「エコール・ブール国立工芸学校」と連携。
海外交流、合同作品展と夢は広がる。

本学院の高い技術力と教育方針に共感された
フランス最高峰の「エコール・ブール国立工芸学校」より、
技術交流の申し出をいただきました。
それを受け、2011年10月、京都府知事の立ち会いのもと、
フランスの工芸振興組合「アトリエ・アール・ド・フランス」とともに
連携協定を締結しました。

JAPAN FRANCE

短期留学で文化交流。互いに刺激し合い高め合う貴重な体験。

エコール・ブール国立工芸学校との交換留学も実施。フランスに1ヶ月滞在する短期留学では、現地の陶芸工房見学などを通して最高峰のものづくりに触れるなど、実り多い時間を過ごしました。またエコール・ブール国立工芸学校の学生もTASKへ来校。陶芸や竹工芸、漆工芸、木彫刻、そして紙漉きや書道なども体験し、作品も制作。TASK生と京都市内観光に赴き、親交を深めてきました。2021年からエコール・ブールが大学になるのを機に、新たなステージで交流を再スタートする予定です。

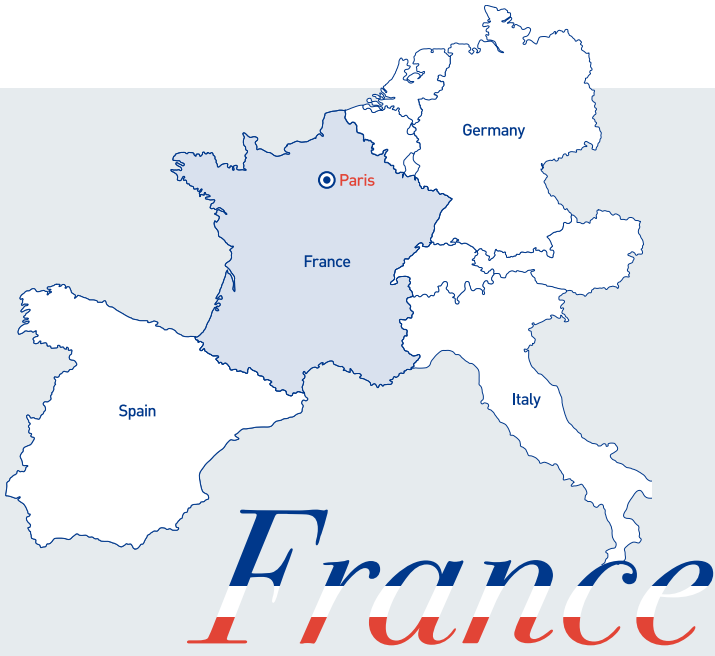


アメリカ

アメリカ・シアトルで学ぶ「夏休み短期留学」奨学生

将来、日本国内だけでなく海外でも活躍する伝統工芸士の育成を支援するため、
本校学生を対象にした夏季米国ワシントン州シアトルでの短期留学を行う予定です。
現地では、ホームステイをしながら、シアトルアートフェア、シアトル美術館、
日本庭園、University of Washingtonなど地元の実文化団体やイベント見学を行います。
また、専攻する伝統工芸の実演を行い、日本の技を世界に紹介する機会もあります。

主催：Five Senses Foundation 協賛：ワシントン州京都人会、京都府



TASK ×École Boulle合同作品展を
京都伝統工芸館で開催。

合同作品展「SYMPHONY(調和)」が付属施設の京都伝統工芸館で開催され、本校の卒業作品31点を含む60点の作品が展示されました。本校の工芸クリエイターコースの学生が中心となってポスターなどを制作し、フランスからの留学生とともに協力して展示を行いました。



ヴァンクリーフ&アーペル
「オリジナル作品制作のための奨学金」設立。



フランスの高級ブランド“ヴァンクリーフ&アーペル”が設立した伝統工芸の技と知識の発展と次世代の職人・クリエイター支援を目的とした奨学金制度です。優れた卒業制作企画を考案した学生を対象に、卒業制作資金の補助となるよう奨励奨学金が支給(贈与)されます。



2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響で留学は実現できませんでしたが、シアトル大学(アメリカ)の嘉住先生に来校いただきました。



イタリア

毎年実施する海外研修で、
洗練された欧州文化を肌で感じる。

毎年、希望者によるイタリアへの海外研修を実施しています。
デザインの本場、イタリアの空気に肌で触れ、その造形美を実感することをメインテーマに、
ローマやミラノ、ヴェネチア、フィレンツェなどの文化遺産の見学、ヴァイオリン工房や銀細工、
陶芸工房など、通常ではなかなか見られないイタリアの工芸品の工房見学などを行い、
学生の視野や創造の幅を広げる機会としています。

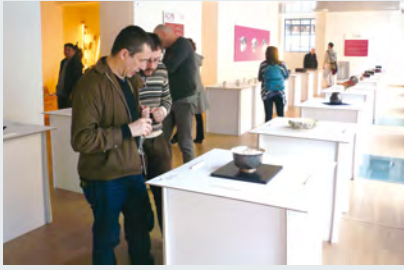
「アルティジャーナル展」で
本校生作品が名誉ある賞を受賞！

イタリア・ミラノ近郊のモンツァ市市民博物館で開催された室内装飾の展示会である「アルティジャーナル展」に、卒業・修了制作展で選ばれたイタリア出展作品28点が展示され、本校生作品の中から3作品がモンツァ市文化部長賞をはじめとする名誉ある賞を受賞しました。



「ミラノサローネ」に
学生作品が招待作品として出展。

イタリア・ミラノで開催される国際的に有名な家具見本市「ミラノサローネ」に、イタリアの4大学の作品とともに、急遽招待作品として出展。世界中から約30万人が訪れる世界最大級の家具見本市において、本校生作品24点が展示されました。



「LODI陶器コンクール」に
学生作品5点を出展。

ローディー市のサンクリストフォロ教会で行われた「第11回LODI陶器コンクール」に、本校生の作品5点を出展。大皿(料理用)をテーマに、本校生作品が高く評価されました。



ブータン

国王夫妻が本学院の附属施設
「京都伝統工芸館」を来訪。

2011年、日本中の話題を集めたブータン国王夫妻の来日。国賓である国王夫妻が多忙を極める中、
本学院の附属施設である「京都伝統工芸館」へご来館。本校生による陶芸や竹工芸、蒔絵などの
制作実演を熱心に見学され、仏像彫刻には特に深い興味を示されました。
その技術に感嘆された国王より、ぜひ技術交流を深めていきたいと話されたことをきっかけに、
留学生を受け入れており、伝統工芸の技術協力を行っています。



ブータン国王へ仏像を寄贈。

世界遺産・清水寺から依頼を受け、ブータン国王へ寄贈する「聖観音菩薩像」を制作。仏像彫刻専攻の学生や講師が東日本大震災で被災した岩手県陸前高田の松を使用して仏像を制作し、2013年、ブータン国王へと手渡されました。



ブータンからの留学生を受け入れ。

2012年、国王の人選による2名が留学生として来日。約2年間、伝統工芸を学びました。そして2015年に再来日し、技と知識をより一層深めました。2016年にはさらに2名の留学生を受け入れています。2012年、2015年と二度に渡り留学してきたワンチュクさんは、2020年1月にも来校して先生、学友と交流を深めました。



ブータン国王夫妻による大日如来坐像へのノミ入れ

